

●包括的・継続的ケアマネジメント支援業務●  
〈活動実践報告〉

# 地域から孤立して生活する 独居男性の支援について

(総合相談からつながった支援のネットワーク  
...多職種連携・地域ケア会議「個別課題解決」)

函館市地域包括支援センター社協  
主任介護支援専門員 佐藤浩義  
平成29年11月1日  
地域包括支援センター運営協議会に於いて

## (1) 対象者の概要

- N・Nさん(男性)
- 68歳
- 1人暮らし
- 地域から孤立し閉じこもり
- 生活環境は不衛生
- 生活困窮
- 借金・水道光熱費などを滞納
- 金銭管理が行き届かない
- 認知症の疑い
- 病院未受診
- 息子と疎遠

## (2) 課題と課題に対する取り組み

課題	課題に対する取り組み
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 介入に対する受け入れ</li><li>○ 生活環境(掃除など行き届かない)</li><li>○ 生活困窮</li><li>○ 借金など負債の問題</li><li>○ 生活保護受給開始なるも妻が亡くなり金銭管理が行き届かない</li><li>○ 病院未受診にて健康管理が行き届かない</li><li>○ 地域から孤立し閉じこもりがち</li><li>○ 緊急時の連絡体制</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 片づけ・大掃除・入浴同行などアプローチにより理解を得る</li><li>○ 訪問型サービス利用 週1回(掃除・洗濯・整理整頓)</li><li>○ 生活保護受給</li><li>○ 法テラス弁護士により自己破産申請にて債務整理</li><li>○ 日常生活自立支援事業により日常的な金銭管理・書類預かり・福祉サービス利用援助</li><li>○ 病院受診(生保開始により医療扶助 今後、在宅診療(検討)により通院に係る負担軽減</li><li>○ 近隣・民生委員・地域(商店)などの協力を得て見守りのある生活</li><li>○ 旧市内に住まいする弟夫婦、疎遠となっている本州に住まいする息子との関係改善。将来的に固定電話を設置し緊急通報システムの設置</li></ul>

## (3) 関わりによって変化してきた...本人の状況

関わる前	関わってから
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 閉鎖的で施錠しカーテン閉めっぱなしの生活</li><li>○ 他人との接触がなく孤立</li><li>○ 容姿が仙人</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 鍵を開けカーテンも開けて生活</li><li>○ 他人を受け入れる</li><li>○ 髭そりを日常的に行う(意欲的...ヘルパー談)</li></ul>

### (3) 関わりによって変化してきた...弟夫婦の状況

#### 関わる前

- 周囲の兄弟からも放置するよう言われ声は出さずも関わりは消極的であった

#### 関わってから

- 弟の妻はおかずなど差し入れしたり、散髪に連れて行ったり、弟宅で食事に招くようになり見守る
- 電気代が高いと北電に連絡し30アンペア～15アンペアに変更手続きを行う
- トイレの便座に保温電源が入りっぱなしにより電気がかかる事を軽減するため便座カバーで補う
- 関わりに消極的で避けていた弟も本人宅を訪問し掃除する

### (3) 関わりによって変化してきた...地域の状況

#### 関わる前

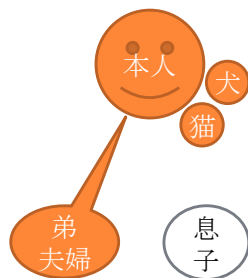
- 生きているかわからなかった。地域で見かけるも声をかける事がなかった...民生委員談

#### 関わってから

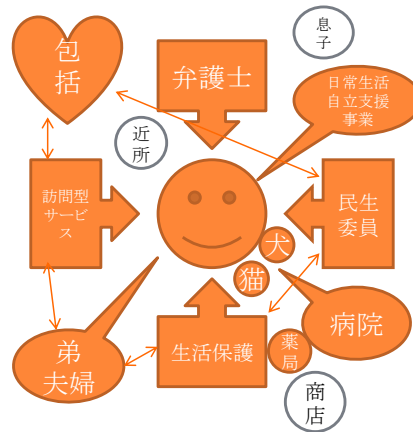
- 「カーテンを開ければ様子がわかる。たまに散歩しなければだめだ」と本人へ声がけがなされる。  
(昔は一緒に出稼ぎで稼いだ間柄だったとのこと)  
これからは見守って行く。  
...民生委員談

#### (4) 地域における本人を取り巻く関係図

関わる以前の地域での関係



関わってからの地域での関係



#### (5) 今後に向けての展開

- 緊急時連絡体制や更なる近隣との関係づくり、また息子との関係改善など残された課題に向けて取り組みつつ、地域で支えていくためにネットワークを構築して行くことが必要であると考えます。
- 又、地域の理解と協力、地域で支える仕組みを地域ケア会議などを通じて見える化を図り、これらが浸透することで地域への啓発にもつながると感じております。